

Tottori Institute of Invention and Innovation



Chizai Tottori

知財とっとり
2026年 9月号

vol.186



発行:鳥取県知的所有権センター

〒689-1112 鳥取市若葉台南7-5-1

撮影: 境港市中野町
鳥取県発明協会 伊藤

■ 一般社団法人鳥取県発明協会

TEL : 0857-52-6728 FAX : 0857-52-6674

■ 公益財団法人鳥取県産業振興機構

TEL:0857-52-6722 FAX:0857-52-6674

目次

- 1 **相談会** 令和8年10月「INPIT鳥取県知財総合支援窓口」相談会のお知らせ
- 2 **企業PR** 鳥取ガス株式会社
- 3 **募集** 令和8年度 鳥取県産業振興機構 外国出願補助金 3次募集
- お知らせ** 2026 図書館で夢・実現！スタートアップ創業勉強会
- 4 **企業連携出前授業** 第7回 三光(株) / 八頭町立郡家西小学校
- 5 **企業連携出前授業** 第8回 (株)ジーアイシー / 倉吉市立鴨川中学校
- 6-7 鳥取県知的所有権センター担当者より
- 8 書籍のお知らせ
- 9 鳥取県特許関係情報(令和8年8月)

鳥取県知的所有権センター ポータルサイト



<http://tottorichizai.com/>

とっとりちざい

検索

INPIT 鳥取県知財総合支援窓口



[http://chizai-portal.inpit.go.jp/
madoguchi/tottori/](http://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/tottori/)

鳥取県知財総合

検索

鳥取県発明協会



<https://tottori-hatsumei.or.jp/>

とっとりはつめい

検索

令和8年10月「INPIT 鳥取県知財総合支援窓口」相談会のお知らせ

(開催時間は、いずれの会場も 13:00～16:00)

月日	場所（予約先）	相談担当	会場
10/2(金)	鳥取商工会議所 (TEL:0857-32-8005)	・ 知財総合支援窓口 担当者	会議室 ※都度ご案内します
10/6(火)	鳥取県発明協会 西部サテライト (TEL:0859-36-8300)	・ 磯部弁護士 ・ 知財総合支援窓口 担当者	2階 相談室
10/8(木)	鳥取県発明協会 本部 (TEL:0857-52-5894)	・ 中西弁理士 ・ 知財総合支援窓口 担当者 ・ 鳥取県よろず支援拠点	1階 相談室
10/13(火)	倉吉商工会議所 (TEL:0858-22-2191)	・ 知財総合支援窓口 担当者	2階 相談室
10/14(水) ※10/7から変更	倉吉市立図書館 (TEL:0858-47-1183)	・ 田中弁理士 ・ 知財総合支援窓口 担当者 ・ 鳥取県よろず支援拠点	2階 第2研修室
10/14(水)	境港商工会議所 (TEL:0859-44-1111)	・ 知財総合支援窓口 担当者	2階 相談室
10/16(金)	米子市立図書館 (TEL:0859-22-2612)	・ 黒住弁理士 ・ 知財総合支援窓口 担当者 ・ 鳥取県よろず支援拠点	2階 研修室3
10/20(火)	鳥取県立図書館 (TEL:0857-26-8155)	・ 秋山弁理士 ・ 知財総合支援窓口 担当者 ・ 鳥取県よろず支援拠点	2階 ミニ研修室
10/21(水)	米子商工会議所 (TEL:0859-22-5131)	・ 知財総合支援窓口 担当者	7階 賛助会員室 ※変更の場合有り
10/28(水)	中部商工会産業支援センター (TEL:0858-36-2868)	・ 知財総合支援窓口 担当者	1階 相談室

- ◆西部サテライトは、偶数月は弁護士、奇数月は弁理士が駐在します。
- ◆商工会議所、商工会の相談会は前日の12時までにご予約ください。

INPIT鳥取県知財総合支援窓口

相談会予約状況（随時更新）



https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/tottori/consultation/consult_info/

INPIT鳥取県知財総合支援窓口とは

一般社団法人鳥取県発明協会がINPIT(独立行政法人工業所有権情報・研修館)から受託して、特許や商標などの知的財産に関するさまざまな悩みや課題について幅広く相談を受け付ける相談窓口です。各中小企業支援機関と連携して協働で支援をおこないます。

お申し込み・連絡先 【 INPIT 鳥取県知財総合支援窓口 】 受託機関：一般社団法人鳥取県発明協会

- ・ 鳥取県発明協会 本部 **鳥取窓口** ☎ 0857-52-5894 鳥取市若葉台南7-5-1
- ・ 鳥取県発明協会 西部サテライト **米子窓口** ☎ 0859-36-8300 米子市日下1247

✉ 共通：torimado@toriton.or.jp



鳥取ガス株式会社

人を想う。未来を創る。



本社社屋



本社工場

担当者よりメッセージ

ガス・電気・通信など、お客さま一人ひとりのライフスタイルに合わせた最適なエネルギーと快適な暮らしをご提案しています。総合エネルギー企業として、地域に寄り添い安心と笑顔をお届けすること。それが鳥取の『未来を動かすチカラ』となる私たちの想いです。地域の皆様に最も身近なパートナーとして、豊かな未来を支えます。



わが社の自慢

地域の資源で、地域の未来を動かす『エネルギーの地産地消』を推進しています！自社保有の東郷太陽光発電所や秋里下水処理場バイオマス発電所の再生可能エネルギー発電施設で創ったクリーンな電気を、グループの『とっとり市民電力』を通じて地域の家庭や工場、公共施設へ供給。持続可能な地域社会づくりをリードしています。

企業名	鳥取ガス株式会社
代表者	代表取締役社長 児嶋 太一
所在地	〒680-0932 鳥取県鳥取市五反田町6
電話	0857-28-8811
URL	https://www.enetopia.jp/
業種	ガス・電気業
関連会社	鳥取ガス産業株式会社 株式会社とっとり市民電力 エネトピアライフサービス株式会社 エネトピアエンジニア株式会社 エネトピアコミュニケーションズ株式会社
業務内容	ガス事業、ガス器具の販売 都市ガス工事、簡易ガス工事 電気供給事業、電気通信事業 その他の関連事業



東郷太陽光発電所



秋里下水処理場 バイオマス発電所

令和8年度 鳥取県産業振興機構 外国出願補助金 3次募集

募集期間：令和8年**9月24日**（木）～**10月30日**（金） 予定

特許、実用新案、意匠、商標を**外国**へ出願する費用を助成します

- (1) 補助金額
外国出願に関わる費用（消費税除く。）の1/2以内。
1出願あたり特許出願150万円、実用新案登録出願、意匠登録出願又は商標登録出願60万円、冒認対策商標30万円を限度とします。
1企業（1グループ）当たり、各出願案件の上限額の範囲内において300万円を上限とします。
（上記金額の範囲内で複数出願への補助可能）
- (2) 対象企業
鳥取県内に本社・事務所・工場等を持つ中小企業者。
県内で事業をしていれば、個人事業主や協同組合も対象
- (3) 対象となる費用 外国特許庁への出願時に要した費用
・外国出願料 ・現地代理人費用 ・国内代理人費用 ・翻訳費用
・その他（外国特許への出願に関連する通信費・振込手数料等）

PCT特許出願、
国際商標出願の
補助金の3次募集
はありません

詳細は **鳥取県産業振興機構**  **【補助金】** のホームページをご覧ください。

問い合わせ・申込先

公益財団法人鳥取県産業振興機構 経営支援部 知的所有権センター

電話：0857-52-6722 FAX：0857-52-6674 メール：chizai@toriton.or.jp

お知らせ

2026 図書館で夢・実現！スタートアップ創業勉強会 （主催：鳥取県立図書館）

図書館で創業や経営に役立つ リサーチ・マーケティング力をつけよう

図書館では、創業の心構えや準備について学ぶセミナーを開催します。図書館で創業の理解を深め、専門家に相談してみませんか？ 創業について何から始めればよいかという不安を解消し、創業の基礎、創業までの流れなど、事業を始めるために必要な情報をお伝えします。創業計画の必要性を学び、必要な情報を整理し、ビジネスモデルを考えてみましょう。勉強会の後半には収支計画を含めたA4判1枚の創業計画作成に挑戦します。INPIT鳥取県知財総合支援窓口から、商標についての説明をさせていただきます。

◆各会場共通 時間：13：30-16：30（セミナーは15：30まで）

◆詳細は鳥取県立図書館のHPをご覧ください

▶ <https://www.library.pref.tottori.jp/business/cat6/-102110271029.html>



図書館で夢・実現！
スタートアップ/2026
創業勉強会

東部会場 10/21 鳥取県立図書館 大田図書室
中部会場 10/27 倉吉交流プラザ 第3研修室
西部会場 10/29 米子市立図書館 第3・4図書室

定員 20名 希望者は20名まで
各会場とも 午後1:30～午後4:30
※申し込みは10月10日（木）まで
※参加費は無料です

講師 図書館で創業や経営に役立つ
リサーチ・マーケティング力をつけよう
森村 穂野 恵広氏
（鳥取県立図書館 経営支援部 知的所有権センター 長）
※鳥取県立図書館 経営支援部 知的所有権センター 長 森村 穂野 恵広氏
※鳥取県立図書館 経営支援部 知的所有権センター 長 森村 穂野 恵広氏

鳥取県立図書館 ビジネス支援担当
TEL: 0857-26-8155 FAX: 0857-22-2996 E-mail: toshokan@pref.tottori.lg.jp
〒690-0192 鳥取県米子市米子1-1-1 鳥取県立図書館 米子市立図書館 第3・4図書室

東部
会場

鳥取県立図書館

令和8年
10月21日（水）

中部
会場

倉吉交流プラザ

令和8年
10月27日（火）

西部
会場

米子市立図書館

令和8年
10月29日（木）

問い合わせ・申込先

鳥取県立図書館 ビジネス支援担当

電話：0857-26-8155 FAX：0857-22-2996 メール：toshokan@pref.tottori.lg.jp

三光株式会社 / 八頭町立郡家西小学校

「リサイクルと私たち」

【日 時】令和8年7月14日（火）13:30-15:15 1コマ

【講 師】三光株式会社

山本 歩美 様・平田 千歩 様・伊達 俊子 様

【対 象】八頭町立郡家西小学校 4年生 2クラス 58名

【概 要】①ゴミからリサイクルされた物に触れてみよう
②ゴミやリサイクルについてクイズ方式で学ぶ
③ガソリンや注射針はどうやって処分するの？
環境クイズラリーにチャレンジ！

はつめいせき
*授業の初めに発明協会から「発明楽」について紙芝居を使って説明させていただきました
*「発明楽」とは発明を生み出す4つの発想スキル＋αー



三光(株)
山本さん 平田さん 伊達さん

児童・生徒の感想

- ・予習で何もかも知っていると思っていたらびっくり！知らないことも沢山ありました。特にクイズラリーの問題で知らないことが沢山あったので、勉強を更に深めたいです。
- ・20年後にはゴミを埋めることができないことが分かりました。食品ロスを減らしていきたいです。
- ・お父さんやお母さんは「手前どり」をせずに奥の賞味期限が長い物しか取らないので、「手前どり」を教えてくださいました。クイズラリーが楽しかったです。
- ・リサイクルの事をあまり知らなかったので良い勉強になりました。
- ・「発コン」r.」で審査官を驚かすような、すごい商品を近い将来作りたいです。

先生の感想

- ・とても楽しく学びになる授業をしていただき本当に有難うございました。内容をかみ砕きながらとても分かりやすく説明していただき、子供たちもよく頭に入り学びになっていました。
- ・普段なかなか知る機会がもてない企業の取り組みについて学べたり、学校教員では限界がある専門分野の内容をプロの方に教えていただけるので、とても有難かったです。
- ・「発明楽」に関する紙芝居がとても分かりやすくて良かったです。



株式会社ジーアイシー / 倉吉市立鴨川中学校

「私たちの暮らしを支える「土木」の面白さを体験しよう」

【日 時】令和8年7月21日（火）13:20-15:10 2コマ

【講 師】株式会社ジーアイシー

田栗 信昭 様・若木 充 様

【対 象】倉吉市立鴨川中学校 1-3年生 3クラス 77名

【概 要】①アーチ橋作りから学ぶ「土木構造力学」
②ダ・ヴィンチの橋作りに挑戦
③パスタとマシュマロを使ってトラス構造にチャレンジ！
三角形は何故強い？

はつめいせき
*授業の初めに発明協会から「発明楽」について紙芝居を使って説明させていただきました
*「発明楽」とは発明を生み出す4つの発想スキル+α-



(株)ジーアイシー 若木さん 田栗社長

児童・生徒の感想

- ・土木と建築の違いや橋を作る事がどれだけ大変かと言うことを知ることができました。今後は違った視点から土木というものを見てみたいと思いました。
- ・土木は何なのかわからなかったけど、暮らしを支えるものだということがわかりました。
- ・ダ・ヴィンチ橋チャレンジで割箸を使って作るのが面白くて、思ったより丈夫でビックリしました。
- ・発明や土木について今まで知らなかった知識や、日頃意識したことのない事にも目を向けて話を聞く事が体験ができました。身近な物から新しい物を作る事が発明の楽しさだと感じました。
- ・+ - × ÷ で生み出された道具がすごく身近な道具で驚きました。身近な物で発明したいと思いました。

先生の感想

- ・生徒が楽しく学べる工夫を考えて下さり、子供たちも土木について視野が大きく広がったと思います。
- ・子供たちのキャリア教育にとって、とても有意義であり、特に県内企業の活躍を学ぶことは、鳥取県の大きな課題である県内就職や定住に繋がる大切な事だと考えています。
- ・土木業種に対するイメージが広がりました。あと1時間くらいあっても良かったと思いました。
- ・様々な職業、特にものづくりに関わる仕事は面白いと思いました。
- ・活動そのものはとても楽しく興味深いもので、専門の方ならではの話しも聞けて良かったです。



『夏と言えばカレー』



特許流通コーディネーター
小谷 清史

毎年の異常気象で、今年の夏は酷暑とゲリラ雷雨に悩まされましたが、夏と言えばカレーの季節。全国各地で開催されるカレーイベントや、コンビニの期間限定メニュー、雑誌のカレー特集など、夏が来るたびに盛り上がりを見せています。また、2025年の総務省の家計調査によると、鳥取市が「カレールウ購入額」で6年ぶりに日本一に輝きました。そんな日本人の誰もが愛するカレーですが、私も子供の頃から大好きで、今でもお店に行ったり、自分でも作ったりしています。

〈そもそもカレーとは〉

カレーの発祥はインドですが、インド料理にはカレーという料理名はなく、インド料理で「汁物」や「おかず」の総称であるタミール語の「カリ (kari)」を、17世紀のヨーロッパ人が料理名と勘違いして母国に持ち帰ったことで広まった料理名のようなのです。(諸説あり)

少しややこしいですが、インド料理＝カレーではなく、インド料理はインド料理、カレーはインド料理の中の一部の「スパイスを使った煮込み料理」と私は理解しています。

17～18世紀頃のスパイスの交易とともにヨーロッパでカレーが広まり、19世紀前半頃にイギリスで「カレー粉」が開発されてから、イギリスなどヨーロッパで大流行しました。

日本には明治時代初期にイギリスから伝わり、その後日本独自に発展していきました。

これらのことより、インド料理の「カリ」(スパイスを使った煮込み料理)、ヨーロッパで生まれたカレー粉を使ったカレー(英国式カレー)、日本で独自に発展したカレー(日本独自のカレー)のすべてが「カレー」であると言えます。

〈日本のカレー〉

明治時代に日本に伝わったカレーは、英国式の小麦粉でとろみをつけた「カレー粉を使った料理」として受け入れられ、学校や軍隊、洋食店を通じて普及していきました。その後国産のカレー粉が登場すると、カレー粉は高価な輸入品から庶民が購入できる食材へと変化し、日本の洋食ブームを牽引しました。

また、そば屋が洋食ブームに対抗するために、出汁とカレー粉を合わせた「カレー南蛮」を開発したのもこの頃で、ここから日本独自のカレー文化が始まったようです。

そして戦後、カレーが学校給食で取り上げられるようになり、やがて家庭でも簡単にカレーが作ることが出来る「固形ルウ」が開発され、全国で爆発的にヒットしていきました。

私たち昭和世代でカレーと言えば、お肉やジャガイモ、ニンジンなどがゴロゴロ入ったトロツとしたカレーがまず思い浮かびます。これは主に、各家庭で市販の固形ルウを使って作るカレーで、その家によって味が違うので、家族にとっては「懐かしい家庭の味」になっています。現在でも各家庭で作られるカレーはこのスタイルが多いと思いますので、各家庭のカレー(＝カレーライス)は、日本のカレーの定着形の一つであると言えます。

その他、日本独自に発展しその後定着したものとしては、カレーパン、カレーうどん、カレー南蛮、スープカレー、焼カレー、スパイスカレーなど、いずれも時代とともにブームを巻き起こしながら、日本独自のカレー文化を盛り上げていきました。

また、カレー味のお菓子も忘れてはいけない存在だと思っています。



とてもローカルな話ですが、私の地元では確か高校生の頃くらいまで、あんこやクリームではなくカレーが入っていた大判焼店が何軒もあり、とても美味しかった記憶があります。その後お店は閉店してしまいましたが、他の地域では見かけたことがないので、もし今も残っていれば、鳥取県のB級グルメとして、全国でも有名になっていたのではないかと思います。

〈スパイスカレー〉

今、日本のカレーの中で注目したいのは、最近流行りのスパイスカレーです。

スパイスカレーの発祥は1990年代の大阪とされていますが、スパイスカレーという名称は、これまでのトロツとした日本のカレーと区別するために、2010年頃にカレー研究家の方々が名付けて浸透していったようです。

いわゆるシャバシャバ系のカレーで、店主がスパイスを独自に調合して作ったカレーを、副菜と一緒にワンプレートに盛った華やかなビジュアルのものが多いです。2種類のカレーをかけた「合がけ」も特徴的で、一口食べると爽やかなスパイスの香りが口いっぱいに広がり、小麦粉を使わないので油っぽさが少なく、さらりとした口当たりでとても美味しいです。

スパイスカレーは大阪で誕生したのち、東京などの首都圏、そして全国各地に急速に広まってきました。今では鳥取でもスパイスカレーを提供するお店が増えています。ただし鳥取で少し違うのは、鳥取にも以前からシャバシャバ系のカレーを出されていた小さなカレー屋さんがあり、そちらをルーツとするお店も増えているというところです。

そのカレー屋さんには当時何度か行ったことがありましたので、私としては「スパイスカレーの原点は鳥取にもあった」と、鳥取のカレーをPRしたい気持ちです。（あくまで個人意見です）



〈カレー作り〉

カレー作りは子供の頃からやっていました。と言っても最初は、母親が作ったカレーに固形ルーを入れるだけでしたが、それだけでも料理をした気分になり、当たり前ですが美味しかったです。そのうちテレビや雑誌の影響で玉ねぎを長時間炒めてから煮込んだり、隠し味や辛さにこだわったりしました。

ある時から固形ルーを使わずにスパイスから作るようになりましたが、なかなか理想の味にならないのが今の状況です。何とか好きなお店の味に近づけるようなカレーを作りたいと思っている今日この頃です。

〈終わりに〉

今でも学校給食のカレーシチュー、夏のキャンプで友達と作ったカレーライス、家で母親が作ってくれたカレーなどが懐かしく思い出されます。大人になって実家を離れても、帰省の度に「お母ちゃん、今度かえーけん、カレー作っちゃいて！」と連絡してから帰っていました。いろいろと食べ歩きもしましたが、そのうち自分でも本格的なものを作ってみたくなくて、インド料理教室に通ってみたこともあります。（写真）

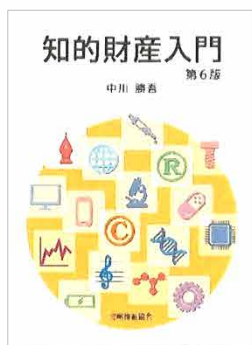
若い頃と比べると明らかに食べる量が減っていますが、これからも大好きなカレーを作ったり食べに行ったりして、自分なりに楽しんでいこうと思っています。



自分で作ったインド料理
（料理教室にて）

書籍のお知らせ（発明推進協会の本 2026.9）

知財が必修科目の愛媛大学で教科書として採用！



知的財産入門 第6版

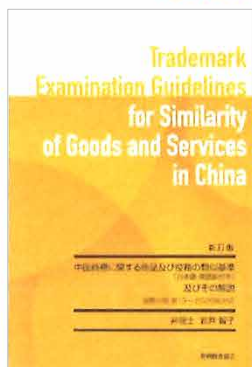
中川勝吾著 A5判 全152頁 定価1,540円（本体1,400円）

2026年8月21日発行 ISBN978-4-8271-1438-6

知的財産は国の枠組みを超えて様々な形で影響していますが、これを説明するのはなかなか難しいのが実情です。本書は、大学生や社会人をはじめ、これから知的財産を学ぶ方々にも分かりやすいように、図表を多く用いながら知的財産と社会の結び付きを丁寧に説明しています。さらに、知的財産管理技能検定の問題と解答用紙を入れて習熟度合いを確認しながら読み進められるようになっています。

鳥取県発明協会 会員価格：1,232円（税込）

複雑化する中国商標戦略の基本書、最新の「正解」がここに。



新訂版 中国商標に関する商品及び役務の類似基準 及びその解説 国際分類 第13-2026版対応

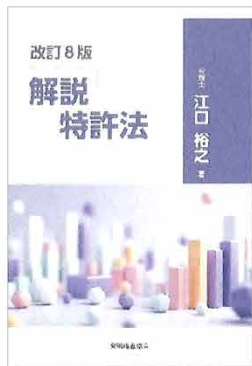
岩井智子著 B5判 全436頁 定価5,940円（本体5,400円）

2026年7月31日発行 ISBN978-4-8271-1444-7

2026年より中国で施行された最新「区分表」の改訂内容を完全収録。国際分類の改訂や中国独自の見直し、新設アイテムに完全対応し、実務で即戦力となる日本語・英語訳を整理した決定版です。年々複雑化する類似範囲の正確な把握はもちろん、審査を突破するための「官民データベース活用法」、最新判決から読み解く「商標ポートフォリオ見直しの指針」までを徹底解説。中国での商標取得・権利活用に取り組む企業・実務家にとって、信頼できる新たな実務書となる一冊です。

鳥取県発明協会 会員価格：4,752円（税込）

特許実務者・弁理士試験受験生の両方にお勧めの一冊！



改訂8版 解説 特許法

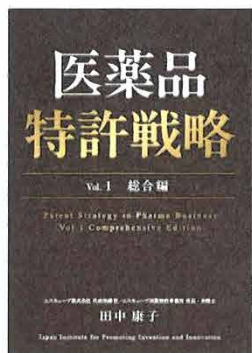
江口裕之著 A5判 全688頁 定価5,940円（本体5,400円）

2026年7月17日発行 ISBN978-4-8271-1442-3

本書は『改訂7版 解説 特許法』（経済産業調査会[2023年]）の改訂版であり、令和8年までの法改正に対応しています。特許法の各規定の趣旨、手続の目的や具体的な内容、更に難解な規定まで体系的に整理して図を交えつつ丁寧に解説するとともに、重要な判例、及び実務のポイントを随所に盛り込んでいます。特許の実務家や、これから実務家を目指す方、弁理士試験を受ける方に最適です。初学者から受験生、実務の第一線で活躍されている方にも役立つ必携の書です。

鳥取県発明協会 会員価格：4,752円（税込）

「薬事×特許」の迷宮突破のための攻略本



医薬品特許戦略 Vol.1 総合編

田中康子著 A5判 全160頁 定価2,530円（本体2,300円）

2026年6月30日発行 ISBN978-4-8271-1436-2

薬事と特許——この「二重の迷宮」を制した者だけが、医薬品ビジネスを制します。本書は、先発vs後発の特許戦略や激しい知財係争を最前線で見続けてきた著者が、両制度のカラクリと競争力を向上させる戦略について、様々な実例に基づいて徹底解説する実務書です。両制度の基礎から応用まで、さらに、実践としてリアルな係争の舞台裏までを体系的に理解できる、医薬品特許戦略の決定版。研究者、知財担当者、アカデミア、行政関係者まで、複雑な制度を「現場で使える知識」として理解したい方にとって、最適実務ガイドです。

鳥取県発明協会 会員価格：2,024円（税込）

鳥取県発明協会の会員様は 発明推進協会
発行の書籍が 20%OFFになります。

【書籍申し込み・入会お問い合わせ】

一般社団法人鳥取県発明協会

電話：0857-52-6728 E-Mail：hatsu@toriton.or.jp

鳥取県特許関係情報（令和8年8月）

◆特許公報目次・実用新案登録公報目次◆

出願人氏名	発明の名称	公報番号	出願番号	出願日
伊達 秀幸	エキス抽出サポート装置及びエキス抽出方法	2026-132315	2025-017184	2025/2/4
株式会社NOTIS Lab.	浄水システム	2026-136998	2025-022903	2025/2/14
株式会社セーフティネクスト	老人介護見守システム	2026-135753	2025-021458	2025/2/13
株式会社ワカバテック	折畳カートン供給装置	2026-136492	2025-022029	2025/2/14
株式会社澤井珈琲ウエルネス	消臭材及び消臭材の製造方法	2026-134229	2025-019652	2025/2/8
大西 康伸	情報処理装置、情報処理方法及びプログラム	2026-137662	2026-022297	2026/2/13
大村塗料株式会社	カルボン酸架橋キチン系天然高分子組成物及びその製造方法	2026-131945	2025-016484	2025/2/4
国立大学法人鳥取大学	超開花性ムギの生産方法	特-07911349	2022-131955	2022/8/22
杉本 光弘	均平作業用信号変換装置	特-07908660	2023-134291	2023/8/21
杉本 伝	均平作業用信号変換装置	特-07908660	2023-134291	2023/8/21
地方独立行政法人鳥取県産業技術センター	高周波加熱方法及び高周波加熱装置	特-07906219	2022-160075	2022/10/4
鳥取県金属熱処理協業組合	高周波加熱方法及び高周波加熱装置	特-07906219	2022-160075	2022/10/4
日本セラミック株式会社	超音波送受信器	特-07908046	2022-067891	2022/4/15

◆商標登録状況◆

商標権者	文字商標	登録番号	出願番号	指定商品
株式会社スマートエコー	G E L U N A、ジェルナ	7069561	2025-117982	第3類 第5類
生和総合技研合同会社	U N E L O V E	7069642	2025-120026	第21類
有限会社山陰工芸	とっかえひっ壁	7069703	2025-129477	第19類
大村塗料株式会社	C H I T O S A N、C L E A R、+、P L U S、キトサンクリヤー+	7069933	2026-050257	第2類
株式会社ヨネザワ	P U R E L I S、ピュアリス	7069995	2026-057976	第1類
株式会社フジタ	F U J I T A、常緑キリンソウのフジタ	7070399	2025-145784	第19類 第31類 第37類
株式会社トリベイ	O T T O R I、まちやどおっとり	7071786	2026-045095	第43類
特定非営利活動法人ラ・ルーチェ絆縁	いなばの恵み	7072620	2025-143318	第30類
国立大学法人鳥取大学	トッティ	7073988	2026-037849	第16類 第41類
有限会社南口石創	あのね	7074688	2025-133617	第21類

※詳細は公報にてご確認ください。

一般社団法人鳥取県発明協会 会員募集中!!

鳥取県発明協会は発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度の普及などを通じて、これらに関係するいろいろなサービスを提供し、地域社会に貢献することを目的として活動しています。このような当協会の活動趣旨にご賛同いただける方々に、会員という形で協会の運営にご協力をお願いしています。

種 別	年 会 費	対象期間	会員様特典
法 人 会 員	一口 / 15,000円	4/1 ~ 翌年3/31	① ~ ⑤
個 人 会 員	一口 / 6,000円	4/1 ~ 翌年3/31	① ~ ②

会員様特典

①会報等を無料送付（毎月）

- ・機関誌「知財とっとり」（一社）鳥取県発明協会発行
- ・月報「はつめい」（公社）発明協会発行

②（一社）発明推進協会の会員向けサービスの利用

- ・刊行物等の値段が20%引き
- ・会員専用ホームページの閲覧

③つきいち検索サービス（希望される法人会員のみ）

- ・ご希望のキーワード群（最大3群）を登録していただき、J-Platpatを使用して検索した結果（リストのみ）を毎月無料送付（公報のプリントアウトは有料）

④当協会ホームページにバナー広告を掲載（希望される法人会員のみ）

⑤機関誌「知財とっとり」の企業PRのページで会員の紹介（希望される法人会員のみ）

《お問合せ・お申込み先》

一般社団法人鳥取県発明協会

〒689-1112 鳥取県鳥取市若葉台南7丁目5番1号

電 話：0857-52-6728 FAX：0857-52-6674 E-mail：hatsu@toriton.or.jp



最近、猛暑や台風、大雨など、異常気象による災害を身近に感じる機会がふえています。災害はいつ起こるかわからないからこそ、日頃から気象情報を確認し、避難場所や連絡方法を家族で確認するなど、一人ひとりが出来ることから備えていきたいものですね。

鳥取県発明協会 伊藤